

令和2年度第2回田原市地域公共交通会議 議事録

1 承認日

令和3年1月22日（金）

2 協議事項

- (1) ぐるりんバス市街地線・童浦線・サンテパーク線の運行車両について
- (2) 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価（案）について

3 協議結果

- (1) (2) とも協議資料に基づき書面協議した結果、全会一致で承認された。

4 報告事項

- (1) 田原市公共交通利用者実績等について
- (2) 伊良湖本線・支線（豊鉄バス株）の乗降者実績・事業評価について
- (3) ぐるりんバス利用促進の取組について
- (4) ぐるりんバス中山線のバス停留所安全性確保対策について

5 意見・情報交換

協議事項（1）

[豊橋技術科学大学 松尾委員]

- ・変更後の予備車両は40人乗りで、47人乗りや51人乗りの車両（童浦線で使用でしょうか）と比べ少し定員が少なくなっているため、もし予備車両を出す必要があり、定員を超過する可能性がある場合には、適切な乗りこぼし対応をとれるようにしていただければと思います。

(事務局回答)

- ・運行事業者の豊鉄ミデイ株と協力しながら、日々の利用者数を勘案し、各路線で適切な大きさの車両で運行できるように調整いたします。乗りこぼしについては、豊鉄ミデイ株で適切に対応できるように準備しております。

協議事項（2）：特になし

報告事項（1）：特になし

報告事項（2）

[愛知運輸支局 鈴木委員]

- ・愛知県の計画となりますが、「伊良湖本線（渥美病院福祉C明神）」系統は、R2実績では、幹線補助の要件である輸送量15人を下回っております。県、関係市、運行事業者を交え、利用実態の詳細な分析及び利用促進策について検討願います。

(事務局回答)

- ・利用実態の分析としては、当該系統は、福江高校の生徒の登下校での利用が最も多くなっていますが、新型コロナウイルスの影響で、一般利用者の通院や買い物目的での利用が減っていると考えられます。
- ・利用促進策としては、令和2年10月に路線の再編を行っており、当該系統の運行本数は大幅に増加しているため、次年度の輸送量は大きく増加すると見込まれますが、伊良湖本線全体の利用者数は、減少傾向にあるため、関係機関と連携し継続して利用促進を行う必要があります。高校生については、回復傾向にあるため、利用が落ち込んでいる高齢者向けに体験乗車などの取組を実施したいと考えています。また、豊橋鉄道(株)と豊鉄バス(株)から渥美線と豊鉄バスに乗れるお得な企画切符の発売を実施しております。

報告事項(3)

[田原市商工会 天野委員]

- ・ぐるりん de GO!は素晴らしい着眼点だと思います。市街地活性化案のひとつだと思いますので、何か商工会としてお手伝いできることはないか、検討したいと思います。

(事務局回答)

- ・現在、緊急事態宣言の発令により、不要不急の外出自粛が要請されているため、ぐるりんバスの利用者数が減少しています。今回の取組を分析したうえで、是非、商工会さんとも連携させていただき、市内全域を対象とした利用促進策へと繋げていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

報告事項(4)

[愛知運輸支局 鈴木委員]

- ・中山市民館バス停の停車位置の変更では、離れて停車する旨について、バス停に表示するなど、利用者に対してわかりやすい案内をお願いします。また、GTFS 対応はどのようになるのか、参考までに教えて下さい。

(事務局回答)

- ・現在、バス停には周知のため、離れて停車することの掲示を行っており、継続して掲示を行うようにいたします。
- ・GTFS 対応については、基本のデータを作成していますが、データ内の備考などに情報を入れることができないか、今後、検討をしていきたいと考えています。

その他

[伊勢湾フェリー(株) 福武委員]

- ・地域一体で幹線交通利用者の利便性の向上を図っていく必要があると思われま

(事務局回答)

- ・市民、地域、事業者、行政等が協働しながら運行内容・利用環境等の改善による公共交通の利便性・有効性の向上を図ります。